

## 平成24年度千葉県バイオ・ライフサイエンス・ネットワーク会議 シーズ発表会 開催結果報告

平成24年9月11日（火曜日）、木更津市のかずさアカデミアホールにて、「平成24年度千葉県バイオ・ライフサイエンス・ネットワーク会議シーズ発表会」を、かずさアカデミアパーク経済対策協議会と横浜・神奈川バイオビジネス・ネットワークの後援を得て開催しました。参加者は52名で、食品関係企業、農業関係企業、製薬・医療関係企業、ものづくり系企業、公的研究機関、国行政機関、地方自治体等、各方面からの幅広い参加者を得て盛況のうちに終了しました。

### 1 概要

テーマを“微生物の産業利用～かずさ発・伝統技術と最新技術の融合～”とし、事例発表や産業利用に関する情報提供を行いました。微生物は、古くから酒・酢・味噌・醤油などの発酵食品に幅広く利用され、現代の産業活動にも欠かすことのできない有用な資源です。今回は3部構成とし、地元企業による“こだわりの伝統的技術”のご紹介、そしてバイオ産業の発展のための基盤整備を行っている独立行政法人製品評価技術基盤機構バイオテクノロジーセンターと公益財団法人かずさDNA研究所から、微生物を有効活用する場面や発酵食品を分析する場面で役立つサービスについて紹介しました。



(発表会場の様子)



(司会 千葉県庁 下條氏)

### 2 開催結果

#### 【あいさつ】

主催者を代表して、公益財団法人かずさDNA研究所企画管理部長の松本正孝があいさつをしました。

#### 【シーズ発表会】

##### (1) 第1部 伝統技術から学ぶ微生物利用の極意

地元企業2社から、微生物を用いた“こだわりの伝統技術”のご紹介を行いました。

1) 手造りにこだわる宮崎酒造店の酒造り

株式会社宮崎酒造店 代表取締役 宮崎 洋史氏

2) 伝統と最新技術による私市醸造の酒粕酢造り

私市醸造株式会社 研究開発部 伊藤 史郎氏

宮崎氏からは酒造りについて、伊藤氏からは酒粕酢造りについて解説をいただいた後に、日頃特にこだわっている点や日頃の思いについてお話をいただきました。両氏のご講演から、微生物への愛情を持って接していることが感じられました。



(株式会社宮崎酒造店 宮崎氏)



(私市醸造株式会社 伊藤氏)

(2) 第2部 必見！国内最大級の微生物コレクションと保存リスクの回避

かずさアカデミアパーク内で、バイオ産業の発展のための基盤整備を行っている独立行政法人製品評価技術基盤機構バイオテクノロジーセンターから、微生物を有効活用する場面や発酵食品を分析する場面で役立つサービスについてご講演いただきました。

1) 微生物資源の産業利用について

独立行政法人製品評価技術基盤機構

バイオテクノロジーセンター所長 中川 純一氏

2) NBRC カルチャーコレクションの業務紹介

独立行政法人製品評価技術基盤機構

上席参事官（生物資源担当・特許寄託担当） 鈴木 健一朗氏



(製品評価技術基盤機構 中川氏)



(製品評価技術基盤機構 鈴木氏)



### (3) 第3部 貴社の研究開発をサポート ～ 企業向け支援メニューの紹介 ～

独立行政法人製品評価技術基盤機構バイオテクノロジーセンターと公益財団法人かずさDNA研究所から、企業の研究開発・実用化をサポートする支援メニューについて講演しました。

#### 1) 海外由来のスクリーニング株提供について

独立行政法人製品評価技術基盤機構

上席参事官（国際連携担当） 安藤 勝彦氏

#### 2) ゲノム情報による微生物資源へのアクセスについて

独立行政法人製品評価技術基盤機構

上席参事官（バイオ安全技術担当） 藤田 信之氏

#### 3) 発酵で生じる化合物の多様性

公益財団法人かずさDNA研究所

生体物質解析センター長 岡崎 孝映



(製品評価基盤技術機構 安藤氏)



(製品評価技術基盤機構 藤田氏)



(かずさDNA研究所 岡崎氏)



(名刺交換会の様子1)



(名刺交換会の様子2)



(展示発表の様子)

### 3 おわりに

アンケート結果から、参加者様の感想として、

- ・地元企業からの発表については、身近な内容でイメージしやすく、よくわかった。
- ・かずさアカデミアパーク内において、最先端の科学技術の研究がおこなわれていることに感銘を受けた。
- ・独立行政法人製品評価技術基盤機構バイオテクノロジーセンターや、公益財団法人かずさDNA研究所のことがよくわかり、今後もっと積極的に活用したいと思った。

等のご意見をいただきました。ありがとうございました。

また、後日、ある参加企業様から、独立行政法人製品評価技術基盤機構バイオテクノロジーセンターと公益財団法人DNA研究所の技術を活用したいとのご連絡を受け、対応させていただきました。事務局では、発表会を企画運営するだけでなく、アフターフォローの体制も整えておりますので、何かありましたら千葉県バイオ・ライフサイエンス・ネットワーク会議のホームページからお問い合わせください。

最後になりますが、千葉県からバイオ研究の実用化が継続的に生まれるよう、引き続き企業連携に繋がるような企画を運営していく所存です。

今後とも、会員の皆様のご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。